

第34回循環器被ばく低減セミナー開催のご案内

主催 全国循環器撮影研究会 (担当:新潟アンギオ画像研究会)

共催 (公社) 日本放射線技術学会 防護部会

初夏を思わせる陽気の中、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、全国循環器撮影研究会では新潟において5年ぶり3回目の開催となります第34回循環器被ばく低減セミナーを下記の要領で開催させて頂く運びとなりました。

特別講師には塚本 篤子先生 (NTT東日本関東病院:循環器画像技術研究会会長)、坂本 肇先生 (山梨大学医学部付属病院:被ばく低減セミナーテキスト編集委員長)のお二方をお迎えいたしまして、新潟県内の血管造影・インターベンション専門技師と共に全循研発行のテキストを基にした講義と線量測定の実習を行う予定です。

現在、血管撮影に携わっていらっしゃる技師の方は勿論の事、これから血管撮影業務に就かれる方もぜひ受講していただきますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

《記》

1. 日時 : 平成27年7月11日(土) 8:30 受付
9:00 開始 (17:00 終了予定)
2. 会場 : 新潟大学医歯学総合病院 会議室
3. 受講料 : 会員:3,000円、非会員:4,000円 (ランチョンセミナーあり)
当日の全循研入会も受け付けます (年会費3,000円)
4. 定員 : 40名 (原則先着順ですが施設内調整をして頂く場合がございます)
5. 申込方法 : 新潟アンギオ画像研究会 HP からの申込専用フォーム

(<http://www.niart.jp/kenkukai/angio/index.html>)

※全循研 HP からリンクがあります

(<http://plaza.umin.ac.jp/~zen-jun/>)

※専用フォーム以外からの申し込みは受付しておりません。ご了承ください。

6. 申込期間 : 平成27年5月20日(水)~6月10日(水)

(受講当選者にのみ案内詳細をメールにて送信いたします。)

- ・本セミナーの受講を修了した者は日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構より認定技師取得単位 3単位、日本救急撮影技師認定機構より認定技師取得単位 2単位が与えられます。
- ・全循研が行っている「循環器被ばく低減施設認定」取得には本セミナーの受講を修了している技師が必要です。(施設認定に対する本セミナーの修了証の有効期限は5年です。)

問い合わせ先:新潟アンギオ画像研究会事務局宛メール : niiigata.angio@gmail.com

水沢(新潟市民病院:025-281-5151 PHS 6652)

岡(新潟大学医歯学総合病院:025-227-0410)能登(同左:025-227-2718)

以上

第34回循環器被ばく低減セミナープログラム概要

平成27年7月11日(土) 新潟大学医歯学総合病院

8:30~	受付	
9:00~9:10	開講挨拶	成田 信浩 (新潟市民病院：新潟アン研世話人代表)
	諸連絡	水沢 康彦 (新潟市民病院：セミナー実行委員長)
	被ばく低減施設認定について	岡 哲也 (新潟大学医歯学総合病院 新潟アン研事務局長・施設認定委員)
9:10~9:40	講義1 放射線への人体の影響	新田見 耕太 (新潟大学医歯学総合病院：IVR認定技師)
9:40~10:10	講義2 法令関連	布施 真至 (新潟大学医歯学総合病院：IVR認定技師)
10:10~10:40	講義3 X線防護用具	能登 義幸 (新潟大学医歯学総合病院：IVR認定技師)
10:40~10:50	休憩	
10:50~11:20	特別講演1 『線量測定法』	坂本 肇先生 (山梨大学医学部付属病院)
11:20~11:40	線量測定実習の説明	坂本 肇先生
11:45~12:15	ランチオンセミナー	東洋メディック(株)
12:15~12:40	休憩	
12:40~13:50	線量測定実習	坂本 肇先生
13:50~13:55	移動	
13:55~14:35	線量測定データの計算・説明	坂本 肇先生
14:35~15:05	講義4 FPDの特性	岡 哲也 (新潟大学医歯学総合病院：IVR認定技師)
15:05~15:15	休憩	
15:15~15:45	品質管理	富永 真和 (立川総合病院：IVR認定技師)
15:45~16:45	特別講演2 『X線装置における被ばく低減技術と 臨床での線量管理方法の紹介』	塚本 篤子先生 (NTT東日本関東病院)
16:45~	修了式・閉講挨拶	